

鴨川市教育委員会 9 月定例会会議録

1 日 時 平成20年9月22日(月) 開会 午後1時30分
閉会 午後3時30分

2 場 所 鴨川市天津小湊支所所長室

3 出席委員 (1) 村上 修平 (2) 佐久間秀子 (3) 柏倉弘昌
(4) 佐々木久之 (5) 長谷川孝夫

4 出席職員 (1) 福田 典白 (2) 長谷川昌明 (3) 久根崎素弘
(4) 長谷川 勉 (5) 安田 典弘

5 委員報告

- ・ 佐々木委員から、おもしろ科学実験教室について早稲田大学の先生や長狭高校科学部の生徒がやさしく丁寧に子どもたちに指導していただき、子どもたちに人気のイベントとなっているので、今後はさらに多くの子どもが参加できるように工夫してほしいとの意見が出された。
- ・ 佐久間委員から、吉尾小学校の運動会について種目が工夫されていたこと、閉校に向けてのお別れセレモニーでは子どもたち、地域の代表者、職員が一体となって行われていたこと、幼保一元化施設になった吉尾幼稚園、保育園の園児が多数参加していたことでにぎやかな運動会であったとの報告がなされた。また、大山小学校の運動会では封切り競争など子どもたちが楽しみにしている種目が毎年組み込まれておりよかったこと、地域と一体となった温かい雰囲気での運動会であったとの報告がなされた。
- ・ 村上委員から、鴨川市郷土資料館・市民ギャラリー見学ツアーに参加した感想として、文化財センターは整然としており見やすく工夫されていること、資料館に展示されている水田三喜男氏寄贈の書を積極的にアピールすべきとの報告がなされた。また、子どもや保護者の数が少なくなってきた学校の運動会は、さびしい感じを受けたとの報告がなされた。

6 教育長報告

- ・ 長谷川教育長から、行政改革推進に関して、19年度の進捗状況は約57%で2億4000万円の効果があったこと、教育委員会関係では推進計画の中で学校給食センターの給食配送・調理を平成22年度までに業者に委託することや小中学校と学校給食センターの統合が盛り込まれていること、今後これらのことについて

て教育委員会会議に諮っていくとの報告がなされた。

- ・ 長谷川教育長から、小学校英語活動実践講座では参加した教員が積極的に模擬授業に取り組み、研修の成果をあげることができたこと、市内小中学校の運動会では小学生が大きな声で開会式を運営したり、応援したりしていたこと、中学校ではどの子も最後まで走りぬく態度が見られたこと、小規模の学校も学校なりの特色を生かして工夫し頑張っていたとの報告がなされた。
- ・ 長谷川教育長から、9月5日に開会した定例市議会の一般質問において、滝口久夫議員からの統合中学校建設に伴う環境整備に関する質問に、プロポーザル方式による業者特定会議により、設計業者が千都建築設計事務所に決まったこと、江見地区からの通学には通学バスを使用すること、水稻に影響のない防犯灯を設置すること等について答弁したとの報告がなされた。
- ・ また、佐藤拓郎議員からの幼保一元化の進捗状況に関する質問に、天津地区では天津保育園の施設の老朽化及び高波の被害が懸念される状況から、幼保一元施設とする方策の検討を始めたこと、東条地区では東条幼稚園の現在の施設では、4・5歳児すべてが通園するには保育室が不足すること、江見地区では施設の増設が必要なこと等を、各学校単位でのメール配信に関する質問には、各学校における情報発信のシステム構築について検討していくと答弁したとの報告がなされた。
- ・ さらに、平松健治議員からの学校統合に伴う安全確保についての質問には、日常の通学や部活で登校する際には通学バスを利用できるようにすること、学校施設の耐震化についての質問には今年度で耐震診断を終わらせ、その結果を踏まえて計画的な対応をしていくと答弁したとの報告がなされた。
- ・ 鈴木美一議員からの学校統合による空き施設の利用に関する質問には、地域の意見を伺いながら進めたいとの答弁をしたとの報告がなされた。

【報告に対する質疑】

質疑なく、全員の了解が得られた。

7 議 事

今回は議事なし

8 その他

- (1) 久根崎課長から、10月1日に千葉県消防設備協会から大山不動尊に消火器3セットの寄贈があること、坂東八幡神社本殿と彫物が文化振興室の調査により貴重なものと判明したので、今後取り扱いについて検討していくこと、市立図書館の蔵書で

同じ図書が複数あるものの中で1700冊を除籍し小学校に配本すること、郷土資料館企画展「秋の装い」展が10月4日から開催されること、漢人幸政氏から郷土資料館に古泉千樞筆の書状等の寄贈があったこと、10月2日から荻込悌三郎遺作展が市民ギャラリーで開催されることについて、資料を基に説明がなされた。

- ・佐久間委員より、市立図書館の蔵書の配本方法についての質問があり、久根崎課長から各学校の図書担当者の会議で100冊から150冊程度の図書を選定してもらうことを計画しているとの説明がなされた。

(2) 長谷川スポーツ振興課長から、7月20日から8月31日までのスポーツ施設利用者数について、総合運動施設は10,224人で対前年比22.7%の増、市営プールは4,282人で対前年比4.7%の増であったとの説明がなされた。

(3) 長谷川学校給食センター所長から、「事故米穀」から作られた「米澱粉」が含まれた食材が学校給食に使用された問題について、現時点の調査では本市において新聞やテレビで報道された食品を使用していないとの説明がなされた。

- ・柏倉委員より、今回報道された県内の業者は大きな業者であり、そのような業者であっても注意を払っておく必要があるとの意見が出され、長谷川教育長から製品に何が含まれているかを調べることは難しいが、できる限りチェックしていきたいとの説明がなされた。また、同委員より同事件に関連してごまかすことは恥ずべきこととの意識が希薄になっていることが問題であり、道徳教育の充実が大切であるとの意見が出された。

(4) 安田副主査より、江見・鴨川統合中学校の現時点の設計案について資料を基に説明がなされた。

- ・柏倉委員より、外観のイメージ図、施工業者、グラウンドの広さについての質問があり、安田副主査からイメージ図はまだ出来上がっていないこと、施工業者はまだ決まっていないこと、グラウンドの広さは300mトラックの他、野球場を別に設けるとの説明がなされた。

- ・村上委員より、グラウンドと校舎の高低差についての質問があり、安田副主査から高低差は2mで、テニスコートとグラウンドは同じ高さであるとの説明がなされた。

- ・柏倉委員より、プロポーザル方式による決定の経緯についての質問があり、村上委員から7社によるプレゼンテーションによる業者の特定についての説明がなされた。また、同委員から業者が提示した価格で決めたのかとの質問に、長谷川教育長から価格も一部の評価に含まれているが、どんな学校をつくりたいかを聞き、特定したとの説明がなされた。

- ・村上委員より、教室のしきりを移動できるようにする考えがあるかとの質問があり

安田副主査から教室のしきりなど細かなところまでは決まっていないとの説明がなされた。

- (5) 柏倉委員より、幼保一元化に関連して、天津保育園は津波に襲われた場合、職員だけでは子どもを安全に避難させられないので、天津幼稚園に隣接する幼保一体化施設として保育園を優先的に建築してほしいとの意見が出され、長谷川教育長から福祉課とともに検討していきたいとの説明がなされた。
- (6) 柏倉委員より、学校からのメールによる連絡方法は、携帯電話を持っていない保護者がいることや電池切れなどの問題もあること、電話による連絡でうまくいっていること、電話での連絡が保護者同士のコミュニケーションのよい機会となっていることから、メールによる連絡方法には賛成できないとの意見が出された。
- (7) 柏倉委員より、小湊小の耐震工事を考えるのなら元小湊中の施設を活用できないのかとの質問があり、長谷川教育長より選択肢の一つとして考えているが、元小湊中学校の校舎だけでは教室が足りないとの説明がなされた。
- (8) 村上委員より、東条地区においても鴨川地区と同じように、幼稚園と保育園が離れていても幼保一元化を図ることができないのかとの質問があり、現在の東条幼稚園には預かりの部屋がないことに加え、保育園から幼稚園に園児が移ってきた場合の保育室の確保ができないとの説明がなされたが、同委員から様々な方法を考え、早期に幼保一元化を進めてほしいとの意見が出された。
- (9) 柏倉委員より、安房東中学校のグラウンドには夜間照明があるが、鴨川地区にはこのような設備がないので将来鴨川地区にも設置する必要があるのではないかと質問があり、長谷川教育長から照明設備の設置には多額の費用がかかり、設置後も電気料金がかかるので、受益者負担等も考えながら検討する必要があるとの説明がなされた。
- (10) 佐々木委員より、いじめ防止の対策についての質問があり、福田教育次長から、学校では道徳の時間などで思いやりを育てる指導をしている他に、いじめゼロに向けて組織的に取り組んでいるとの説明がなされた。また、長谷川教育長からいじめが発生した場合には隠すことなく、公開することが原則であるとの説明がなされた。
- (11) 柏倉委員より、ADHDなどの発達障害の児童生徒に対してどのような支援をして

いるのかとの質問があり、福田次長から本市では学級担任を補助する特別支援教育支援員を今年度から4校に配置したこと、県が教育事務所に配置している専門的な知識を有する指導主事や巡回指導職員を活用して教職員の指導力向上に努めているとの説明がなされた。

(12) 佐久間委員より、全国学力・学習状況調査の結果に関する質問があり、次長から今後分析を進めていくとの説明がなされた。

(13) 各課長、福田教育次長から、資料を基に10月の行事予定についての説明がなされた。また、福田教育次長から、10月の定例教育委員会会議について説明がなされ、早稲田大学鳴川セミナーハウスで開催することになった。

村上委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成20年10月23日

鳴川市教育委員会 委員長 村上修平

委員長職務代理者 佐久間秀子

教育次長 福田典白

会議録作成者 福田典白